日本学術会議第25期新規会員任命に関する緊急声明

内閣総理大臣は，このたび日本学術会議が第25期新規会員候補として推薦した者のうち６名を任命しませんでした。さらに，その理由や経緯について十分な説明がなされておりません。

これは，日本学術会議法に定められた同会議の独立性について懸念される事態であります。また，日本国憲法の保障する「学問の自由」を侵害することにもつながりかねない事態であると捉えています。生活科教育及び総合的学習の教育にかかわる研究の発展と普及を図ることを通して，我が国の学術の発展に寄与し次世代の研究者を育成しようとする本学会は，この新規会員任命に関する状況を看過することはできません。

すでに，他の学会や団体からも同様の声明が多数発せられているところですが，日本生活科・総合的学習教育学会理事会としても，ここに内閣総理大臣に対して次の二点を強く要望します。

１　日本学術会議が8月31日付で推薦した新規会員候補者のうち，任命されていない６名の候補者について，任命とならなかった理由や経緯を明らかにすること。

２　上記６名の任命見送りを撤回して，任命すること。

令和２年１０月１４日

日本生活科・総合的学習教育学会　理事会